2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	市光工業株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7244	URL	http://www.ichikoh.com/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	ヴィラット クリストフ
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員 CFO	（氏名）	白戸 裕之　　(TEL) 0463-96-1442
配当支払開始予定日	ー		

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	90,207	4.7	4,824	29.0	6,193	24.3	4,537	17.1
2025年12月期第３四半期	86,141	△6.4	3,739	72.7	4,982	48.1	3,873	52.6

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　4,480百万円(　22.0%) 2025年12月期第３四半期　3,673百万円(　△6.2%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	47.13	ー
2025年12月期第３四半期	40.26	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	128,312	82,857	63.8
2025年12月期	129,641	80,120	61.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　81,840百万円　　2025年12月期　79,106百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	7.00	ー	7.00	14.00
2026年12月期	ー	9.00	ー		
2026年12月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	0.8	5,900	1.4	6,600	△12.8	5,000	△19.4	52.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	96,486,457株	2025年12月期	96,431,141株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	182,097株	2025年12月期	181,947株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	96,271,230株	2025年12月期３Ｑ	96,215,614株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（追加情報） …… 9
（セグメント情報等） ……11
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……11
（重要な後発事象） ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げによる消費の持ち直しや設備投資の増加により緩やかな回復が続きました。一方、資源高や物価高、為替変動、海外景気の下振れ懸念など依然として先行き不透明感が残り、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があります。米国は、個人消費やＡＩ関連設備投資の内需に支えられ緩やかな成長が続きましたが、輸入拡大による外需の下押しや高金利の継続など成長ペースの減速もみられました。アセアンでは、マレーシアの電子製品輸出好調が牽引した一方、タイの家計債務問題や洪水被害、インドネシアのインフレ上昇・高金利環境の継続が内需を下押しし、国ごとに強弱が分かれる推移となりました。

当第３四半期連結累計期間における自動車生産台数は、日本国内では総じて回復基調を維持し、緩やかな増加となりました。アセアンにおける自動車生産台数はマレーシアおよびタイは微増、インドネシアは過去の低迷からの反動で大幅な増加となり、アセアン３か国としても前年同期比で増加となりました。

このような事業環境のもと、当第３四半期連結累計期間におきまして、売上高は新規プロジェクトの立ち上げや、金型売上の増加などにより、90,207百万円(前年同期比4.7%増)となりました。利益面については、増収による効果に加え、金型収益の増加や生産性の向上により、原材料費やエネルギーコストの高騰影響を吸収し、営業利益は4,824百万円(前年同期比29.0%増)、経常利益は6,193百万円(前年同期比24.3%増)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益についても、前期における事業構造改善費用等が今期は発生しなかったことにより、4,537百万円(前年同期比17.1%増)と、増収増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は128,312百万円となり、前連結会計年度末比で1,328百万円の減少となりました。流動資産が全体で61百万円増加し、固定資産が全体で1,389百万円減少したことによるものであります。

流動資産の増減は、現金及び預金が952百万円、受取手形及び売掛金が3,858百万円、それぞれ増加した一方で、短期貸付金が3,501百万円、仕掛品が1,176百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定資産の増減は、持分法適用会社への投資簿価の増加を主因として、投資その他の資産が全体で1,646百万円増加したものの、有形固定資産が全体で3,063百万円減少したことなどによるものであります。

負債は45,455百万円となり、前連結会計年度末比で4,065百万円の減少となりました。主として、流動負債が全体で3,814百万円減少したことによるものであり、固定負債は全体で251百万円の減少とほぼ横ばいの水準で推移しました。

流動負債の増減は、支払手形及び買掛金が2,070百万円増加した一方で、電子記録債務が5,996百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は82,857百万円となり、前連結会計年度末比で2,736百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上が4,537百万円ある一方で、配当金の支払が1,540百万円あることなどによるものであります。

（百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月期)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)	増減
資産の部			
流動資産	69,394	69,455	61
固定資産			
有形固定資産	37,759	34,695	△3,063
無形固定資産	41	69	28
投資その他の資産	22,445	24,091	1,646
固定資産合計	60,247	58,857	△1,389
資産合計	129,641	128,312	△1,328
負債及び純資産の部			
流動負債	38,813	34,999	△3,814
固定負債	10,707	10,455	△251
負債合計	49,521	45,455	△4,065
純資産	80,120	82,857	2,736
負債純資産合計	129,641	128,312	△1,328

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の業績予想につきましては、2026年２月13日に公表したものから修正はございません。

また、期末配当予想につきましては、変更はございません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,431	13,384
受取手形及び売掛金	12,594	16,452
電子記録債権	103	139
商品及び製品	1,593	1,637
仕掛品	3,023	1,846
原材料及び貯蔵品	3,935	3,841
短期貸付金	33,158	29,657
その他	2,620	2,661
貸倒引当金	△66	△166
流動資産合計	69,394	69,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,237	11,637
機械装置及び運搬具（純額）	15,374	13,931
工具、器具及び備品（純額）	1,597	1,766
土地	1,785	1,759
リース資産（純額）	5,078	4,695
建設仮勘定	1,686	906
有形固定資産合計	37,759	34,695
無形固定資産		
その他	41	69
無形固定資産合計	41	69
投資その他の資産		
投資有価証券	4,368	4,830
関係会社出資金	7,503	8,858
長期貸付金	868	841
繰延税金資産	3,537	3,121
その他	6,170	6,442
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	22,445	24,091
固定資産合計	60,247	58,857
資産合計	129,641	128,312

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,540	15,610
電子記録債務	12,746	6,749
リース債務	741	754
未払法人税等	608	1,394
未払費用	4,913	4,083
賞与引当金	590	1,072
役員賞与引当金	5	15
製品保証引当金	397	418
その他	5,269	4,899
流動負債合計	38,813	34,999
固定負債		
リース債務	4,803	4,559
退職給付に係る負債	5,729	5,766
資産除去債務	26	26
その他	147	103
固定負債合計	10,707	10,455
負債合計	49,521	45,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,017	9,031
資本剰余金	2,536	2,550
利益剰余金	59,758	62,755
自己株式	△56	△56
株主資本合計	71,255	74,280
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,978	5,758
退職給付に係る調整累計額	1,873	1,801
その他の包括利益累計額合計	7,851	7,560
非支配株主持分	1,013	1,016
純資産合計	80,120	82,857
負債純資産合計	129,641	128,312

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	86,141	90,207
売上原価	71,173	73,770
売上総利益	14,968	16,437
販売費及び一般管理費	11,229	11,613
営業利益	3,739	4,824
営業外収益		
受取利息	229	374
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	1,402	1,281
その他	6	114
営業外収益合計	1,640	1,771
営業外費用		
支払利息	171	127
支払手数料	0	45
為替差損	218	206
その他	6	23
営業外費用合計	396	402
経常利益	4,982	6,193
特別利益		
固定資産処分益	47	2
特別利益合計	47	2
特別損失		
固定資産処分損	117	129
事業構造改善費用	456	－
特別損失合計	573	129
税金等調整前四半期純利益	4,456	6,066
法人税等	491	1,291
四半期純利益	3,965	4,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,873	4,537

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	3,965	4,774
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	104	△758
退職給付に係る調整額	105	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△502	535
その他の包括利益合計	△292	△294
四半期包括利益	3,673	4,480
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,575	4,246
非支配株主に係る四半期包括利益	98	233

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（追加情報）

（合弁会社設立に関する合弁契約締結）

当社は、TATA AUTOCOMP SYSTEMS LIMITED（以下、「TACO」）と、インドにおいて50：50の合弁会社（以下、「JVC」）を設立することを取締役会において決議し、2025年8月に合弁契約を締結いたしました。

JVCは、ヴァレオが61.08％を所有する東京証券取引所上場企業である当社と、インド有数の産業コングロマリットであるタタ・グループ傘下の自動車部品部門であるTACOが合弁会社を設立することで、急成長するインド自動車市場に対応します。TACOと当社は、必要な法的承認および規制当局の同意の取得を条件として、Valeo India Private LimitedのValeo Lighting Systems（以下「VLS」）事業を買収する最終契約の締結に向けてTACOと協議中の段階であります。

1.　合弁会社設立の目的・理由

当社は、ものづくりに深く根ざした企業として、120年以上にわたり世界中のお客様に照明ソリューションを提供することでお客様の満足を追求して発展を続けています。その経験と専門知識を生かし、当社はインドで新たな事業パートナーのTACOと力を合わせ、国際展開の新たなステージに入ります。

インドにおける合弁会社の設立により、当社は、自動車部品メーカーとしての優れた歴史に、現在Valeo India Private Limitedが所有しているVLS事業を加え、さらにインドの産業界で強固な地位を築いているタタ・グループ傘下のパートナーとの連携により、成長著しいインド市場に参入することが可能となります。

当社は、このチェンナイの事業拠点およびTACOの現地ネットワークとビジネス・ノウハウ、そしてヴァレオ・グループのイノベーション能力のシナジー効果により、この新しく有望な地域で発展できると判断しました。

2.　合弁会社の概要

(1)　名称	未定	
(2)　所在地	インド	
(3)　代表者氏名	未定	
(4)　事業内容	照明製品の設計、開発、製造、供給、アフターマーケット製品の販売および関連事業	
(5)　出資比率	市光工業: 50%、TACO: 50%	
(6)　設立予定日	現時点で未定	
(7)　上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社の持分法適用会社となる予定です
	人的関係	当社の役員及び従業員が当該会社の役員を兼務する予定です
	取引関係	技術支援契約を締結する等、開発、生産、品質管理に至る全面支援を行う予定です

3. 合弁相手先の概要

(1)　名称	Tata AutoComp Systems Limited	
(2)　所在地	TACO House, Damle Path, Off Law College Road, Erandwane, Pune 411004, India	
(3)　代表者の役職・氏名	Mr. Arvind Goel	
(4)　事業内容	自動車部品の製造・販売	
(5)　設立年	1995年	
(6)　上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

4. 主な日程

(1)　合弁契約締結　：　2025年８月
(2)　事業買収契約締結　：　2026年11月（予定）
(3)　合弁会社設立　：　2027年１月（予定）
(4)　事業開始日　：　2027年１月（予定）

(注)上記日程は、国内外の競争法当局によるクリアランス、その他の法令上必要となる関係当局の許認可等の内容により変更される可能性があります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

当社グループは、自動車部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

当社グループは、自動車部品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	4,154百万円	4,092百万円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。